

ボランティアガイド

ボランティア活動の多くは自分のことをできる範囲で行うというものが多い。だが、ボランティアによるチラシやポスター制作を行っている「川崎市民団体Coaクラブ」は、未経験者にパソコンを使ったデザイン技術を教える教室も運営している。印刷物制作に不可欠な「イラストレーター」と「フォトショップ」の使い方をまず学び、そのうえでボランティア活動を始めてもらうのだ。川崎市民以外でも自由に参加できる。

川崎市民団体Coaクラブ

「ソフトの使い方が分かってても、クリエイティブな仕事に就くためには制作の実績が不可欠です。Coaクラブで経験を積み、クリエイターとして就職している人もいます。Coaクラブはクリエイター同士の交流の場にもなっていますね」と代表の松田安芸江（あきえ）さん。写真左は言う。

Coaクラブはデザイナーが実績を積みむ場であり、制作を依頼する側にとっては高品質な印刷物を低価格で提供する場になっているのだ。

受講者が教室で学ぶのは月に2回だが、課題は毎週提出

する。講師はプロのデザイナーたち。受講料は月額1500円だが、依頼制作やCoaクラブの運営・イベント活動に関わることで貢献ポイントが発生し、さらに安くなる仕組み。現在、大学生から80代までの30〜40人が参加している。



2009年から参加している最高齢86歳の小林通孝さん。同中では「パソコン自体はウィンドウズ95のころから使っていたけれど、イラストレーターはCoaクラブで覚えました。これまでの自分を超えるには（パソコンでのデザインの学習が）必要だと感じて学び始めました」と語る。すでにイラストレーターを自在に使いこなす腕前で、日本画風のイラストを持ち味にしている。

講師の1人、古殿（ふるどの）童夫さんは「印刷物を作るためには、いろいろな知識が必要です。Coaクラブには、幅広い年代のさまざまな

業界の人が集まっているので、私自身とても勉強にな

2つの生きがい、得られる場に

ボランティアを募集している人、興味がある人からの取材希望、ご意見・ご質問を募集します。 taj.volunteer@gmail.com までメールをお寄せください。

川崎市民団体Coaクラブ
URL: <http://coa-club.com/>
問い合わせ: info@coa-club.com

前出の松田さんは「印刷物の制作は、単にレイアウトするだけではなく、細かいデザイン技術も必要になります。年齢に関係なく、イラストや絵が好きな方なら、定年後に始めてもプロ並みになります」と太鼓判を押す。技術取得とボランティア、2つの「生きがい」が得られる場だ。（松本佳代子）